

## こんな時はどうするの？

資源物等を出す際に生じる様々な疑問。市に寄せられた質問の中から、代表的なものを紹介します。

- Q** 卵パックや弁当の空き容器などに付いているラベルは、付いたままですて良いですか？
- A** 汚れを落としてから、ラベルは付いたままですてプラスチック製容器包装の収集日に出してください。
- Q** 牛乳パックは、回収しているお店に持って行くのと、ごみステーションに出すのとどちらが良いですか？
- A** 排出者の選択になりますので、牛乳パックが適正にリサイクルされるのであれば、どちらに出されても構いません。
- Q** 工作したペットボトルは、資源物になりますか？
- A** マジックで色を付けたリ、はさみで切ったりしたものは、リサイクルされにくいので、燃やせるごみとして出してください。
- Q** 金属の棚がさびて、触るとぼろぼろに崩れます。資源物に出せるでしょうか？
- A** ぼろぼろに崩れるほど、さびた金属は、燃やせないごみとして出してください。
- Q** トイレットペーパーやキッチンペーパーの芯を、紐でしばり、資源物の雑誌類で出そうと思いますが、かさ張ってしまいます。何か良い方法はないでしょうか？
- A** 芯をはさみで切り開いて広げてから、雑誌やノートなどの間にはさんで出してください。
- Q** 蛍光管や水銀式体温計は燃やせないごみですか？
- A** 蛍光管や水銀式体温計は割れないように購入時の箱に入れるか、新聞紙などに包んでから市役所本庁や各総合支所、各出張所などにある拠点回収ボックスに入れてください。
- Q** シュレッダーなどで処理した、小さい紙も資源物になりますか？
- A** 幅5mm、長さ5cm以上あれば資源物になります。

### 「鹿屋市ごみ分別一覧表」を活用しましょう



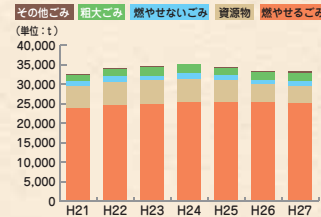
「鹿屋市ごみ分別一覧表」には分別の仕方やごみを出す時のポイントなどを詳しく掲載しています。お持ちでない人には、市役所本庁や各総合支所、各出張所、各学習センターなどでお配りしています。正しいごみの分別にお役立てください。



今後更に高齢化が進み、核家族、単身世帯が増加することにより、1世帯ごとに必要な生活用品が増え、ごみの排出量が増加することが予想されます。

**燃やせるごみの中に資源が眠っている!?**

今年8月、市では、ごみの減量化・資源化を図るため、寿・札元など6地区のごみステーションで「可燃ごみ組成調査(ごみ袋に含まれる資源物量の調査)」を実施しました(グラフ1)。



(グラフ1) 鹿屋市のごみ総排出量の推移

近年の市のごみ総排出量の推移をみると、平成13年に有料指定ごみ袋による排出制度を設けたことやコンポストの無償配布などごみの減量化を図ったことにより、家庭からのごみ排出量が少なくなり、平成20年度までは大きく減少しました。

しかし、平成21年度を境に、

35・7%は「生ごみ」であることが分かりました。生ごみには大量の水分が含まれており、燃やせるごみとして出すと、焼却施設での処理に莫大なエネルギーが必要となります。生ごみ処理機などの自家処理によって、いかに生ごみを出さないようにするかということ、やむを得ず燃やせるごみとして出す場合でも、水切りによって水分を減らすことが、ごみの排出量や処理費用の削減に重要です。またリサイクル可能な「古紙類」の割合は9・6%で、他に衣

平成24年度にかけてごみの総排出量が増加傾向を示し、更なるごみの減量の施策を講じる必要が出てきました。

これを受けて、平成25年度から使用済み小型家電の分別収集の拡充や、家庭用生ごみ処理機器等設置補助事業などによる生ごみ減量化の推進、ごみ分別チラシの全戸配布などによるごみ減量意識の浸透に取り組んだ結果、ごみ総排出量は再び減少に転じています。

しかし、ごみ総排出量が減少しているとはいえ、資源物を除く燃やせるごみなどの排出量は、平成21年度以降2万8,000トン前後で推移しており、高止まりの状態にあると言えます。

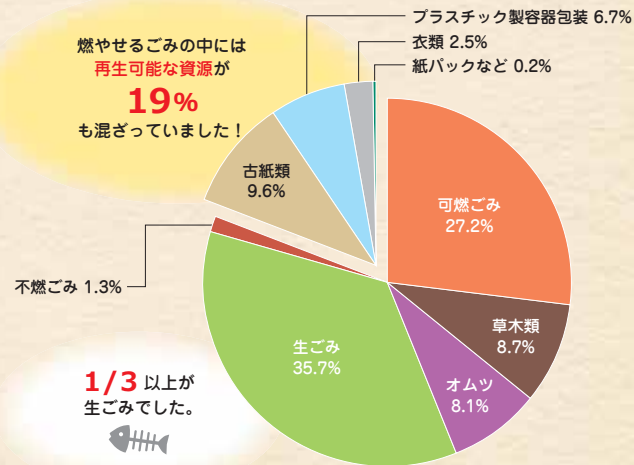
また近年の市の人口は、緩やかな減少傾向にあるにもかかわらず、総世帯数が増加しています。

市の昨年度のごみの総排出量は3万3,240トン。これは市民一人あたり一日に866グラムのごみを出していることとなります。ごみを減らすため私たちにできることは？一緒に考えてみましょう。

# 混ぜればごみ分ければ資源

未来に残そう 限りある資源

### 燃やせるごみ袋の中を調べてみると…



(グラフ2) 平成28年度可燃ごみ組成調査結果

類や紙パックなどの資源となるものを含めると、全体で19%は資源物として再資源化できるものが含まれていることが分かりました。分別を徹底することにより、ごみの減量はもちろんのこと、資源物として処理すること、ごみ処理経費の削減や資源のリサイクルにつながります。ごみ分別一覧表を活用するなどして適切な分別をお願いします。

**埋め立て処分場にもやがて限界が:**

やせないごみなどは、最終的に錦江町の「肝属地区大根田最終処分場」に埋め立てられます。ここは鹿屋市を含む肝属地区の2市4町から出たごみが集まる場所で、このままのペースでごみを受け入れて埋め立てた場合、あと約9年で満杯になり、埋め立てができなくなります。混ぜればごみ、分ければ資源。あなたがごみとして出したものの中に大事な資源が入っていないか。限りある資源を未来に残すため、ごみの減量・リサイクルへの協力をお願いします。

開市生活環境課(5階) ☎0994-311115